

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟柔整専門学校
設置者名	学校法人新潟医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	第一柔道整復師	夜・通信	145 単位	9 単位	
	第二柔道整復師	夜・通信	145 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟柔整専門学校
設置者名	学校法人新潟医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	介護施設代表	令和3年12月10日 ～令和7年12月9日	介護関連職との連携
非常勤	弁護士	令和3年12月10日 ～令和7年12月9日	法令教育・法関連相談
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟柔整専門学校
設置者名	学校法人新潟医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>&lt;授業計画の作成過程&gt;                  担当科目の決定後、担当教員にて素案となる授業計画を作成、副学科長、学科長の承認後、教職員会議の承認を得て完成としている</p> <p>&lt;授業計画の作成・公表時期&gt;                  授業計画の作成は授業開始の3ヶ月前迄とし、公開は授業開始の1ヶ月前とする</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>&lt;学修成果の評価方法&gt;                  全教科において学期末に実施する期末試験の取得点数にて評価を行っている</p> <p>&lt;単位授与に係る評価の基準&gt;                  単位授与の基準となる期末試験での取得点数は 100 点満点中 60 点以上としている</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1. 学期末に授業担当教員（講師）にて出席状況、授業態度、提出物、期末試験などにより 100 点を満点とする取得点数を算出する</p> <p>2. 全科目の合計点の平均を算出する</p> <p>3. 以下の区分により分布人数を算出し指標とする  ①～59点 ②60～69点 ③70～79点 ④80～89点 ⑤90～100点</p> <p>4. 以下の人数と境界点数を算出し指標とする  下位 1 / 4 に該当する人数  境界点数・・・下位 1 / 4 に該当する指標数値  (〇〇点以下は下位 1 / 4 に該当する)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>&lt;卒業認定の方針&gt;  柔道整復師となる者として必要な医学知識・医学関連知識、柔道整復術を習得した者に卒業の認定を与える。具体的には、本学が教授する全教科にて全単位取得かつ卒業学年（3 学年）中に行う卒業認定試験にて 6 割以上の点数を取得し合格し、柔道整復試験財団が主催する認定技術試験にて合格であった者を卒業認定する</p> <p>&lt;卒業認定の適切な実施状況&gt;  卒業認定の方針に従い、全教科にて全単位取得者かつ卒業認定試験にて合格した者を卒業認定会議にて確認、認定を行っている</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟柔整専門学校
設置者名	学校法人新潟医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
財産目録	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
事業報告書	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第一柔道整復師学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	154 単位	102 単位	26 単位	4 単位	単位時間 /単位 22 単位	
		154 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		163 人	0 人	12 人	30 人	42 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>&lt;授業計画の作成過程&gt; 担当科目の決定後、担当教員にて素案となる授業計画を作成、副学科長、学科長の承認後、教職員会議の承認を得て完成としている</p> <p>&lt;授業計画の作成・公表時期&gt; 授業計画の作成は授業開始の3ヶ月前迄とし、公開は授業開始の1ヶ月前とする</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>&lt;学修成果の評価方法&gt; 全教科において学期末に授業担当教員（講師）にて出席状況、授業態度、提出物、期末試験などにより100点を満点とする評価を行っている</p> <p>&lt;単位授与に係る評価の基準&gt; 単位授与の基準となる学期末での評価点数は100点満点中60点以上としている</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>&lt;卒業認定の方針&gt; 本学が教授する全教科にて全単位取得かつ卒業学年（3学年）中に行う卒業認定試験にて6割以上の点数を取得し合格したものを卒業認定する</p> <p>&lt;卒業認定の適切な実施状況&gt; 卒業認定の方針に従い、全教科にて全単位取得者かつ卒業認定試験にて合格した者を</p>

卒業認定会議にて確認、認定を行っている <進級の認定基準> 当該学年の全教科の全単位を取得した者を進級判定会議にて確認、認定をおこなっている
学修支援等
小テスト、期末試験の取得点数に一定の基準を設け、取得点数が基準点未満の学生には無償にて補講を行っている 講義外にも技術セミナー、向学セミナーを開催し技術、知見の向上を図っている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
50人 (100%)	2人 (4%)	47人 (94%)	1人 (2%)
(主な就職、業界等) 病院・整骨院・介護施設			
(就職指導内容) ・学内にて60～70社を学校に招聘して独自のガイダンスを行っています ・求人案内、履歴書類添削、模擬面接など専用のスペースを設け就職活動を支援しています			
(主な学修成果（資格・検定等）) 卒業にて柔道整復師国家資格試験受験資格が付与される			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
166人	12人	7.2%
(中途退学の主な理由) 学業不振・疾病・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 事務局に相談窓口を設け中退志望を早期に把握、学業不振の場合は補講、個別指導を行っている。学習方法指導を随時行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第二柔道整復師学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	154 単位	102 単位	26 単位	4 単位	単位時間 /単位	22 単位
			154 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		92 人	0 人	12 人	30 人	42 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>&lt; 授業計画の作成過程 &gt;          担当科目の決定後、担当教員にて素案となる授業計画を作成、副学科長、学科長の承認後、教職員会議の承認を得て完成としている</p> <p>&lt; 授業計画の作成・公表時期 &gt;          授業計画の作成は授業開始の3ヶ月前迄とし、公開は授業開始の1ヶ月前とする</p> <p>成績評価の基準・方法</p> <p>&lt; 学修成果の評価方法 &gt;          全教科において学期末に授業担当教員（講師）にて出席状況、授業態度、提出物、期末試験などにより100点を満点とする評価を行っている</p> <p>&lt; 単位授与に係る評価の基準 &gt;          単位授与の基準となる学期末での評価点数は100点満点中60点以上としている</p> <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>&lt; 卒業認定の方針 &gt;          本学が教授する全教科にて全単位取得かつ卒業学年（3学年）中に行う卒業認定試験にて6割以上の点数を取得し合格したものを卒業認定する</p> <p>&lt; 卒業認定の適切な実施状況 &gt;          卒業認定の方針に従い、全教科にて全単位取得者かつ卒業認定試験にて合格した者を卒業認定会議にて確認、認定を行っている</p> <p>&lt; 進級の認定基準 &gt;          当該学年の全教科の全単位を取得した者を進級判定会議にて確認、認定をおこなっている</p> <p>学修支援等</p> <p>小テスト、期末試験の取得点数に一定の基準を設け、取得点数が基準点未満の学生には無償にて補講を行っている</p> <p>講義外にも技術セミナー、向学セミナーを開催し技術、知見の向上を図っている</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (62.5%)	6 人 (37.5%)

(主な就職、業界等) 病院・整骨院・介護施設
(就職指導内容) ・学内にて60~70社を学校に招聘して独自のガイダンスを行っています ・求人案内、履歴書類添削、模擬面接など専用のスペースを設け就職活動を支援しています
(主な学修成果(資格・検定等)) 卒業にて柔道整復師国家資格試験受験資格が付与される
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92人	8人	8.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振・疾病・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 事務局に相談窓口を設け中退志望を早期に把握、学業不振の場合は補講、個別指導を行っている。学習方法指導を随時行っている。		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
第一柔道 整復師	500,000 円	900,000 円	400,000 円	
第二柔道 整復師	500,000 円	900,000 円	400,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>&lt;評価の実施方法&gt; 学校関係者評価委員会を開催し自己評価結果の検証を行い、改善方策の検討を行う</p> <p>&lt;評価の体制&gt; 委員 (4名) ①専門分野委員：就職実績が多い企業2社より各1名 (計2名) ②その他の分野からの委員：卒業生より2名 (計2名)</p> <p>&lt;評価項目と結果の活用方法&gt; ①社会ニーズについて、自己評価の評価結果に基づき再評価を行い、社会のニーズの変化に対応した教育内容の編成、修学環境の整備を行う。 ②教育技術、教育手法について、自己評価の評価結果に基づき再評価を行い、改善案の策定を行う ③地域、業界におけるステークホルダーと本校の連携協力について評価、改善案を検討し、特色ある専門学校づくりを進める</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
宏友会接骨院 鍼灸マッサージ院	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	本校卒業生
あべ接骨院	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	柔道整復師専門学校の精通した人物
びすぼ鍼灸接骨院	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	柔道整復師専門学校の精通した人物
やしま接骨院	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	本校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.ncjt.jp/disc/">https://www.ncjt.jp/disc/</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

ホームページ：<https://www.ncjt.jp>

刊行物の請求：電話にて（025-234-5935）